

コーランから見たマホメットの宗教的人間

小 田 丙 午 郎

Mahomet as the prophet and the man in the Koran.

1

日本で一般に呼んでいるコーランの原語はアラビア語の Qur'ān. コーランの方がより正しいようだ。そしてこの言葉の意味は recite (朗読する) に相応するらしい。コーランは Mahomet (569—632) が在世中に Allah の神から授けられた Oracle (神託) をそのたびごとに信徒の前で朗読したものの中から 114 を選び、一冊の本にまとめた Islam (全回教徒) の Canon (正典) であり、それが成立したのはマホメットの死後のこと。そのお膳立ての役をしたのは Said であり、彼の協力者たちは、さらに Coadjust (共同調整) の任務を果たして現行の authoritative (欽定) の形をとるようになったのは三代目 Caliphate Uthman (644—655) の時代であった。コーランの収録と編集に当たり、マホメットの後継者たちが特に留意したのは教祖からの所伝に私見を加えないことは勿論、その文体の中に Mecca の方言また慣用語を保存する一点であった。そのためでもあろうか、コーランの多国語訳 (日本語も含め) は原語そのままにしている。例えば ALiF lam mim ra とか TA sin と言うように。マホメットがアルラーの預言者または使徒として自覚に達したのは、610年頃のように伝えられている。彼が、しかし、宣教活動の旗幟を同族の間に鮮明にしたのはメッカから Medina に逃亡した 622 年からその死に至る十年間であり、コーランに収められたそれぞれ Sura (章) は言わばこの間のアルラーの啓示である。各章はおのおの長短の差がある。が各章は帰一神アルラーへの呼びかけとして ^{注1}In the Name of Allah, the Compassionate, the Merciful で始まり、一人称複数 By の大文定で宣言されている。コーランの基調をなしているのはアルラーの自己宣言とイスラーム人への絶対帰化の命令である。一方これに付随してコーランはイスラームの個人としてまた部族としての生活の諸規定、食生活、夫婦関係、礼儀、祭礼また軍規などが含まれている。コーランはイスラームには神典である。イスラームではない私たちにはこれからマホメットの信仰的自叙伝を読みとり、その宗教的人間像を描くことが許されないであらうか。

2

コーランは、なるほど、アルラーの神託を語っている。が他面これにはアルラーの名においてマホメットの自己告白がなされていることを見逃してはならない。

旧約聖書に現われる^{注2}預言者たちのように、彼は同時代の人々から嘲笑された。それは色々の

1 この呼びかけがないのは一つ Repentance

2 旧約聖書アモス書 7:12

悪名において。気違い、占い師など。

By the grace of Allah, you are neither soothsayer nor madman.

Do they say : He is a poet : we are waiting for some misfortune to befall him'.

Say : Wait if you will; I too am waiting'. ^{注3} 52 sura mountain

この上日本語で訳す必要がないほどの英語訳である。ここでは you とはアルラーからマホメットに語りかけた対称。

He とは世評の対象とされているマホメットであると言う一事を付言すれば充分であろう。詩人に就いて同じ題名の Sura 中に次のように記している。

Poets are followed by none save erring men. Behold how aimlessly they rove in every valley, preaching what they never practice.

^{注4} 詩人とは巧みに語りながら、放言のままにした類であったろうか。

マホメットばかりでなかった。宣教姿勢を正しくするために似て非なる宗教家たちと厳しい自己聖別を行なわなければならなかったのは。

コラーンは既に述べたようにマホメットの口を借りたアルラーの自己宣言である。しかしこれは使徒マホメットの自己聖別の告白余録とも言えるのではなかろうか。

ではマホメットはどのようにしてアルラーの預言者の資格を客観的に承認したのであったか。

アルラーが語る。マホメットにはこれは究極の自己弁護の拠り所であった。これはマホメットを満足させても人人をば納得させない。

The Imrans (イムラーン一家) はコラーンのうちの長いもの。その年代も遙か後。この Sura の中に

He has revealed to you the Book with the truth, confirming the scriptures which preceded it; for He has already revealed the Torah and the Gospel for the guidance of men, and the distinction between right and wrong.

前掲のように平易な英語。the Book とはコラーン。Torah はヘブル語。律法と訳され、具体的には所謂モーセの五書、創世記、出エジプト記、レビ記、民数記、申命記。Gospel は一般にはマタイ、マルコ、ルカとヨハネの四つのイエス伝を指すが、マホメットはこのような類別に捉われず広く新約聖書を示している。

マホメットはアルラーの言葉を語る。このアルラーはしかしマホメットにおいて始めて示規されたのではない。

アルラーは旧約の時代にまた新約の時代にそれぞれの使徒を遣わして契約を結んだ。ユダヤ教徒にユダヤ教徒の、キリスト教徒にはキリスト教徒との契約を。

3 この数字は伝統的な Sura の序数

4 The muhammad Propnet and Statesman by Watt, The Call to Prophet

マホメットはこの故にユダヤ教徒とキリスト教徒とをイスラームとともに People of the Book (啓典の民)^{注5}と呼んでいる。

コラーンはアルラーの言葉である。ただこれが旧約と新約と異なるのはアラビア語で語られているだけ。

We have revealed this Koran in the Arabic tongue so that you may understand it. 12 Joseph

The Table (食卓) は120節からなる後期の Sura である。これには

There is guidance, and there is light, in the Torah which We have revealed. By it the Prophets who surrendered themselves to Allah judged the Jews, and so did the rabbis and the divines : they gave judgement according to Allah's scriptures which had been committed to their keeping and to which they themselves were witnesses.

コラーンはこう語って

After those prophets We sent forth Jesus, the son of Mary, confirming the Torah already revealed, and gave him the Gospel, in which there is guidance and light, corroborating that which was revealed before it in the Torah, a guide and an admonition to the righteous. Therefore let the followers of the gospel judge in accordance with what Allah has revealed therein. The Table

と数節の間を置いて、上のように付言している。この章句に見られるのは旧約と新約との同一の神による摂理的な連続である。コラーンには預言者以外の旧約聖書中の人物が引き合いに出される。Adam. Cain. Abel Noah Jonah などのような物語また伝説上の人たちも。マホメットにはこれらの人人は言わば主役に対する助演である。コラーンの随処に預言者の系譜が描かれている。

Say : 'We believe in Allah and that which is revealed to us :

we believe in what was revealed to Abraham, Ishmael, Isaac, Jacob, and the tribes; to Moses and Jesus and other Prophets.' 2 Cow

コラーンに載せられているのは Abraham や Joseph などの名だけではなく、かれらの事跡である。

マホメットが旧約の人物の事跡を語るのは、史実としてよりもむしろ比喩あるいは教訓としてである。

Their history is a lesson to men of understanding. 12 The Joseph (星の座)

さらに彼には旧約の預言者たちは彼とともにアルラーの名のために蒙る迫害の担い手であった。

5 井筒俊彦コラーン下神兆 296頁

要するにマホメットはアルラーの使徒として旧約から新約にかけて啓示された真理を忠実に継承したと自ら信じたのであった。

It is He that has sent forth His apostle with guidance and the true faith, so that he may exalt it above all religions.

Allah is all-sufficient Witness. 48 The Victory

コラーンは旧約と新約とから最大公約数の教義をエキスにしたもの。マホメットが最大公約数としてエキスにされた教義を^{注6}アラビア風の思考様式に解釈し説明したものは現行のコラーンであると言えは妥当を欠くであろうか。コラーンの教義は下のように三つに要約して誤らないであろう。

- (1) no other gods besides Allah.
- (2) The Day of Judgement is sure to come.
- (3) Do good and avoid evil-deed.

3

^{注7}旧約聖書の文献的性格が研究されたのはヨーロッパでは18世紀頃からである。それまでは旧新両約聖書は文字通りの神典として信徒の良心を支配して来た。

Abraham に関しても人人は聖書の伝えるままを受け取っていた。7世紀のアラビア人は、なおさらのこと、アブラハムをかかれらの部族の先祖と信じていた。序でながらアブラハムの歴史性に絡んでは積極的に否定される何物もないのが学界の調査の結果であるとされる。

ユダヤ教はさておき、初代キリスト教会においては族長 (Patriarch) に向けられた見解には二つの方向があったように窺われる。その一つは^{注8} Paulus によって、他は^{注9} James によって代表されている。

But if so, what can we say about Abraham, our forefather by natural descent? This, that if 'Abraham was justified on the score of what he did,' he has something to be proud of.

But not to be proud of. The Moffat Translation of the Bible Rom. 4:1-2

パウロはアブラハムの行為の限界を主張する。彼は神の前には一人の罪人である。がアブラハムの人類の救済史における意義は全く無であろうか。パウロはアブラハムに因み一つを特筆する。

Abraham believed God and this was counted to him as righteousness.

Rom. 4:3

6 Sura joseph

7 モーセの5書はモーセ一人の作と信じられていた。しかしこれらの著者は一人でなく、これらの書物が四つの記者たちの複合構成であることは明らかにされた。なおこれらの記者の名は J E D P のイニシアルで区別する。

8 Paulus. 新約聖書使徒行伝8章 Saulos と呼ばれたユダヤ人。ヘレニズの文化の盛んなタルソ生れであって彼はギリシア語で手紙を書いた。

9 ヤコブと呼ばれヤコブの手紙の発信者。ルターはこの手紙を藁の書と言った。

アブラハムは神を、ただ一人の神を信じた。それだけが神に救われる資格だ。パウロのアブラハム批判を以上のように約言するのは不可能であろうか。

パウロからヤコブに。彼は同じアブラハムを取り上げ

Abraham believed God, and this was counted to him as righteousness he was called God's friend. You observe, it is by what he does that a man is justified, not simply by what he believes. James 2:23-24

と認め、パウロに反撃を加えている。

パウロは一般に知られているように^{注10}パリサイ人として厳格なラビの伝統を守る半面、キリキアのタルソ生まれのギリシア語を話す^{注11} diaspora であった。彼の眼に映じた砂漠の原始社会に住む族長の姿はどんなものであったろうか。彼に二人の妻があった。^{注12} Sara と Hagar. パウロはこのような家庭のあり方を族長の故に最眞の引き倒しをしたとは到底考えられない。

パウロやヤコブはしばらくおきマホメットが族長アブラハムに向けられた尊敬と信頼とはコラーンのここかしこに記されている。これもまたアルラーの名において。

Say: 'Allah has declared the truth. Follow the faith of Abraham. He was an upright man, no idolater.' The IMRANS

一方マホメットにはアブラハムにより近いものがあつた。その二人の生きた風土。かれらの由つた生活様式。殊に両者の族長としての心理構造。この故にマホメットのアブラハムの接近はパウロでなくヤコブではなかつたろうか。いな、ヤコブ以上であつたろう。言い替えればアブラハムの信仰は言わずもがな、生活全般がマホメットの模範であつたに違いない。これは Puritan(清教徒)の歴史を知るものの常識。一七世紀の清教徒精神が^{注13}家庭生活に靈気を吹きこんだ。一天一婦はこの世紀の掟ではなくモラルとなつた。こうしたクリスチャンハートにはマホメットに許されないものがある。それはマホメットの多妻生活である。彼は愛妻 Kadijah と死別してから多くの女性を妻にした。それを彼は私事として人眼に塞ごうとはしなかつた。彼はこれを公然とコラーンに盛り入れている。

The Prophet has a greater claim on the faithful than they have on each other. His wives are their mothers. 33 The Confederate tribes

Luther (1463--1546) は中世の修道院 (monastery) が Chasity (貞潔) の名で行なつて来た独身の制度を破り自ら結婚の先例を作つた。これは彼の信仰的な立場からでありまた一般の humanism への応答からでもあつた。マホメットの多妻の肯定と公認の論理づけとなつたのは何であつたろうか。結局のところアルラー許したもうとの神託以外にはこれは見出しがた

10 Pharisees 前2世紀頃からイエスの時代にかけて活動した宗派。モーセの十誡を厳格に守るのがこの派の特色。

11 ギリシア語で離散の意味。エルサレム外に寓居して母国語を語らないユダヤ人たち。

12 創世記 (Gen) 16章

13 ピエレール著田辺保訳男と女

いであろう。彼はアラビア族であった。その血液において、その伝統的思考において、彼にはオリエント例えばエジプトやペルシヤなどに見られる ascetic (行者) とは互いに容れない何かがあったのではなかろうか。このような消息が漏らされているのに

As for **monasticism**, they instituted it themselves (for We had not enjoined it on them), seeking thereby to please Allah; but they did not observe it faithfully.

57 Iron

の一節がある。これによれば独身はアルラーの喜ぶものではない。

4

左にコラーン、右に剣とは 誰が口にした言葉であろう。メッカ人でイスラームに帰依した Walid が後にイスラームの剣と呼ばれたところから察すれば、これが人の口に膾炙されたのはマホメットの死後の事かも知れない。^{注14}622年彼がメッカからメジナに移住した Hijra の年からメッカを降服させるまで殆ど十年近くの年月はマホメットには戦いの連続であった。マホメットがアルラーから靈感を受けたのは正に血腥い戦闘中においてであった。

彼は同族の Quraysh にアルラーの神の名を告げ逐次近隣に改宗を迫った。かれらは嘲笑した。マホメットはこんな不信者は放任してアルラーの審き日を予先をした。しかし彼の同志を迫害するものに対しては剣を取らせた。

Believers, when you encounter the armies of the infidels
do not turn your back to them in flight. 8 The Spoils

同じ Sura で彼はまた

Make war on them until idolatry is no more and Allah's
religion reigns supreme.

と付加し戦争への勇気を鼓舞しそしてその目的を指示している。イスラームの戦いはこのような slogan の下に遂行された。彼の最後の戦いが終わった時、Ka'ba に礼られた偶像は破壊された。イスラームには異教徒の折伏は義務以上に重大な意味があった。この参戦を拒否することは終りの日の地獄入りを宣告されるのであった。

The true believers fight for the cause of Allah, but the infidels
fight for idols. Fight then against the friends of Satan. 4 The Women

これも序でに、Satan は Jinn と呼ばれ終りの日の地獄火を予告されているもの。

Pilgrimage も彼の後期の Sura である。ここでもまた彼はアルラーの名において彼の戦いの跡を回顧しその展望を示唆している一節がある。

Had Allah not defended some men by the might of others,
the monastries and churches, the synagogues and mosques in which
His praise is daily celebrated, would have been utterly destroyed.

14 世界各国史Ⅹ前島信次編西アジア史65頁

^{注15}
啓蒙家レナールによれば 創世以来狂信のために 殺された人たちは 3309,5290 という事である。

宗教によって、宗教のために古代からなされた戦いは三つに類別される。^{注16} 平和主義と義戦論と聖戦論。

理由の如何んを問わず参戦を拒否する立場が平和主義。平和の回復を目的し万策が尽きた時の異常措置としての参戦—これは義戦論である。聖戦とは宗教の指導者たちが神の意志と信じ異教の神神の絶滅のために信徒を戦闘に駆り立てたもの。第一を代表するものは初代キリスト教徒、第二の場合はギリシアの哲人たちそして第三はイスラエルの士師たち。

マホメットはその生涯から、さらにコラーンから見て第三の聖戦論者に属する事には何人も異論がないであろう。

マホメットは聖戦主義者であった。しかし聖戦の端緒は彼に帰せらるべきであろうか。これの先例は同じ啓典の民イスラエル民族の歴史の中に既に存していた。イスラエル民族が砂漠から沃野カナンに侵入して統一王国が形成されるまで (B.C 1230—1030) までを人は士師時代と呼んでいる。士師の最後の人^{注17}は Samuel であった。彼の時代イスラエルはカナン沿岸に恐るべき敵ペリシテ大を迎えなければならなかった。サムエルがこのような危機に際し初代イスラエル王^{注18} Saul にヤハウエの言葉として伝えたのは下記の通りのもの。

I intend to punish Amâlek for what he did to Israel, when he opposed them on their way up from Egypt. Go and defeat Amârek : massacre him and all that belong to him, do not spare him, slay both men and women, child and infant, Ox and sheep, camel and ass.

The Moffat Translation of the Bible

1 Sam15 : 2-3

ヤハウエは砂漠の神、戦闘の神。万軍の主 (the Lord of hosts) の名がこの神の呼称として旧約聖書殊に詩篇の中に幾回用いられているであろう。

5

マホメットは孤児であった。^{注19} モーセもそうであった。モーセはエジプトでお尋ねの身であった。マホメットも預言者として召されるまでは浪浪の生活を送った。預言者としてのマホメットの任務はただ “Your duty is only to warn them; you are not their keeper.” The overwhelming event の告示に従えばよかった。が事はマホメットの意に相違した。彼は Cow の sura を読んでこう祈っている。

15 世界の歴史10フランス革命とナポレオン33頁

16 この三分類は Christian Attitude Toward War and Peace によった。この著者は Roland. H Bainton. 中村妙子による「戦争・平和・キリスト者」の日本訳がある。

17 サムエル記の上を参考。

18 イスラエル統一国家の初代の王。サムエルに選ばれたが、彼の支持を失って悲劇の末路を遂げた。

19 エジプト記 (Exodus) 2 章

Lord, do not lay on us the burden You laid on those before us.

Lord, do not charge us with more than we can bear.

イスラームの指導者に呼応してイスラエル民族の先達も神に泣訴する。

How can I possibly bear the heavy burden of you and your disputes, all by myself. Deut. 1:12

マホメットとモーセとの繋がりには彼とアブラハムののそれに並ぶのではなからうか。モーセの名もアブラハムに劣らずコラーンに表われて来る。彼が特に物語られるのは TA HA である。断るまでもなくマホメットの描くモーセも物語中の人物であり、一面彼の上にマホメットその人が投影されている。マホメットはモーセの祈りに照応している。そしてさらに符合を合わすように宣教精神の呼応を叫んでいる。Torah の説明は既に済んだ。この Torah 結論に当たるのは上に挙げた^{注20} Deuteronomy (申命記) である。申命記には申命記の中心テーマがある。それが何であるかと問われるなら、人は下の章句を指摘するだろう。

Listen, Israel: 'the Eternal, the Eternal alone, is our God. And you must love the Eternal your God with all your soul and all your strength. 6:4

これがそのままコラーンに接木されている事はマホメットも否認しなかったであろう。人は申命記と言え^{注21}ばヨシユア王 (640—609) の宗教廓清を連想する。彼がこのために意図し計画したのは一神の掛け声と礼拝の中央集権化であった。マホメットもそのようにした。コラーンはアルラーの一神性を叫ぶ。これだけではない。この具体的実践としてコラーンが記載することを忘れないのも申命記の記者と同じである。

When We prepared for Abraham the site of the Sacred Mosque, We said: 'Worship not besides Me. Keep My House clean for those who walk around it and those who stand upright or kneel in worship.

すなわち、マホメットにはアルラー帰一はメッカ神殿礼拝と表裏一体である。

コラーンの日本語訳は上中下の三巻となって刊行されている。その訳者井筒俊彦氏はコラーン理解の予備知識として旧約聖書の創世記からサムエル書、それに加えて詩篇の一読を助言している。その通りである。

創世記からサムエル書までのイスラエルの歴史は同時にマホメットその人の歴史である。その教義の把握においてまたその宗教人としての成長において。

彼はセム族の一神教信者であった。彼がこれを消化したのは族長的身分においてであった。この宣教姿勢は戦闘的であった。そして彼の構想した神政政治の形態は前期ユダヤ教を原型と

20 これはギリシア語聖書七十人訳を英訳にしたもの。この書はモーセに託した説教集。前7世紀以後成立。

21 ギリシア語原典 apo tou ponērou は日本語訳聖書では悪しき者からと訳している。原意に近いようだ。

していた。アブラハムにサムエルの二人にモーセがアラビア風に混合されたのはマホメットの人間像ではなかったろうか。

コラーンの訳者の紹介した詩篇の事もまた書き落されてはならない。

We wrote in the Psalm after the Torah had been given :

‘The righteous among My servants shall inherit the earth.’ 6 The Prophets
この出典は37篇の29節。

the land is the possession of the good,
and all their days they shall dwell there.

である。彼はこの一節を中核に詩篇を消化している。詩篇全体はこのような立場から解釈されて誤るところがないであろう。その序曲をなしているのはそれだから。

When judgment comes, the ungodly shall not stand, nor
shall the sinful last in the community of the just. Psalm 1 : 5

一神教の迫力はどこにあるだろうか。それは正義の常勝を掲げ不義の絶滅を歌うからでもあろう。

5

マホメットに及ぼした福音書の感化もコラーンにれっきとしている。彼はイエスをマリアの子と呼ぶ。マリアは彼には崇拝の対称ではない。しかし彼女がイエスを生むまでの貞潔性は疑われない。Sura の中に Mary の名を冠したのがあり、The Imrans もまた聖女マリアに触れている。アブラハムやモームに対して彼は尊敬し親近する。イエスにおいて彼が抱くのはこれ以上でありこれと別種である。

We gave him the Gospel and put compassion and mercy in the hearts of his
followers. 57 The Iron

コラーンの記すところだけからすればマホメットの好意と敬愛とはユダヤ教徒よりもキリスト教徒に寄せられている。それだけにコラーンの中にはイエスの教訓や比喻を継承し彼の宣教様式に改変させているものの数は少なくない。一つ二つの例を引こう。

Good and evil deeds are not alike. Requite evil with good, and he who is your
enemy will become your dearest friend. 41 Revelation well expounded
格調の高さと気品の麗しさは別としてこれは

You have heard the saying, ‘You must love your neighbour and hate your
enemy.’ But I tell you, love your enemies and pray for those who persecute you,
that you may be sons of your Father in Heaven. Mt. 6 : 43

を想起しないであろうか。彼はこの短い教訓に続いて

If Satan tempts you, seek refuge in Allah.

と論じている。これは主の祈りの末尾をなしている

Lead us not into temptation but deliver us from evil. Mt. 6 : 13

をアラビア人のムードに読み変えたまでである。マホメットは彼の宣教経験のイエスの表現を借りて

Believers, you have an enemy in your wives and children ; Beware of them.

と言っているのは

Yes, a man's own household will be his enemies. Mt. 10 : 36

と前後の関連があるものと推定されてよいであろう。

^{注22}

レビ記はユダヤ人の生活方式の諸規定を綴っている。この11章は食物の禁忌を命じている。禁忌の理由づけはさらさない。これは文字通りにイスラームに受容される筈がない。

これに対しての挑戦の先駆をなしたものはイエスであった。

Listen, understand this : it is not what enters a man's mouth that defiles him; what defiles a man is what comes out of his mouth. Mt. 15 : 11

コラーンはアルラーの名において語るのもこれの肉づけである。

We have forbidden the Jews the foods We have already enumerated. We never wronged them, but hey wronged themselves. 16 The Bee

コラーンは啓典の民の中にイエスに最高の使徒としての地位を与えているように想われる。だがマホメットのイエスの評価は彼との上下ではなく彼との対等の次元において定められている。

Jesus was no more than a mortal whom We favoured and made an example to the Israelites 43 Ornament of gold

同じ一神教とは言いながらユダ教はユダ教。キリスト教はキリスト教。そしてイスラームはイスラームである。

6

コラーンに見出される新約聖書の人物は実にその数が少ない。Luke による福音書に表われる Zacharias やバプテスマの John 位が精精の事、この書のどこに Peter やパウロの名が発見されるであろうか。ここにもコラーンとバイブルの分岐点があるのではなかろうか。パウロと同じようにマホメットはイエスの復活を信じた。両者のイエスの復活に関する解釈の相違はなおさら二つの宗教を東と西のように相隔着る壁となっている事は注目に値するであろう。先ずマホメットの復活から。

彼はイエスの復活を弁護する。彼にはしかしイエスの復活は終りの日に全人類の預型である。イスラームはイエスの十字架の死を否定すると言われる。^{注23}

マホメットによれば復活とは人間の生の量的な延長である。それを示唆するものは彼が画がく数多い Paradise の光景である。

22 この名称も七十人訳 (LXX) に由来する。イスラエル民族の宗教法規集。前468年エズラガエルサレム帰還した時大憲法として公布された。

23 井筒俊彦訳コラーン上 138頁

They shall dwell in gardens watered by running streams : whenever they are given fruit to eat they will say : ‘This is what we used to eat before,’ for they shall be given the like. Wedded to chaste virgins they shall abide there forever.
The cow

これはイスラームの宗教文学として比喩的にまた象徴的に積義されなければならないだろうか。それとも文字のままを真とすべきだろうか。ヨーロッパの教会においては文字そのままに受け取られて来た。とりわけ下線を施した部分に関しては。

Under Islamism, which dreams of its Paradise of houries, sensuality usurps public authority,……

と激烈な非難をイスラームに投げた Abraham Kuyper からこの消息が窺われるようだ。^{注24} 上文に就いて一つの言葉に注解を加える。houries とは chaste Virgins と同義。

次にパウロの復活に触れよう。彼には復活はイエスにおける一回的な出来事であった。

言うならば復活したのはイエスだけ。世が創って以来、イエスを除いて一人も復活した者がなかった。従ってイエスの復活の意味はユニークである。パウロの生涯はこの意味づけに捧げられた。イエスが復活したのは彼を信じる者がすべ神に義とされるためであった。彼によれば天国とは人間の生が質的に飛躍する時であった。

I tell you this, my brothers, flesh and blood cannot inherit the realm of God, nor can the perishing inherit the imperishable. I Cor. 15

パウロの書簡が^{注25}難解とされたのは今に始まらぬ。この章句も問題をはらんでいる。私たちにこれを具象的に代弁するものとしてマタイがイエスの口に託した次のような解り易いものがある。

At the resurrection people neither marry, nor are married, they are like angel of God in Heaven. Mt 22 : 30

パウロと同様、ヨハネの名もコラーンには見当たらない。ヨハネもまたコラーンに著しい対比を見せている。マホメットはメッカの聖殿を唯一の礼拝の場とした。

We will make you turn towards a qiblah that will please you. Turn towards the Holy Mosque : wherever you beface towards it. The Cow

こんなケースがユダヤにもあった。

“Woman,” said Jesus, “believe me, the time is coming when you will be worshipping the father neither on this mountain nor at Jerusalem. John 4 : 21
イスラームはアルラーの前に礼拝の形式を規定される。しかしキリスト教徒は礼拝に様式がない。

24 Abraham Kuyper (1837—1920) オランダ人。Anti-modernism の指導者。政治家としての業績をあげ、また Calvinism の著書が多い。引用文は Lectures on Calvinism P26

25 ペテロの第二の手紙 3 : 16

God is spirit, and his worshippers must worship him in spirit and in reality.

John 4 : 24

記述の順位が前後する。ユダヤ教徒は終りの日を信じた。ユダヤ教徒にはしかし終りの日と Messiah の到来とは同一事象の裏と表とであった。

I will raise up a prophet for them among themselves, like yourself.

Deut. 18 : 18

モーセは彼の後に来るものを預言した。マホメットはこれをなしたであろうか。コラーンにそれらしいものが探し出されない。アルラーの一使徒としてその分限を忠実に守ったマホメットが彼の追隨者たちに使徒系譜に終止符を打たれる悲劇を見るようになったのはここに基因しているのではなかろうか。

7

コラーンはアルラーを讃美するため相似た章句を随処に反復している。アルラーの神の属性の一つとしてマホメットが高調するのは全能全知である。

He has knowledge of all that is manifest and all that is hidden.

87 The most High

彼はこのような神の全能を、いな全能の神を人に証した。神の全能はその創造、具体的には天地万物そのものに顕われている。

Many are the marvels of heavens and earth; yet they pass them by and pay no heed to them. 38 Joseph

マホメットは耳でアルラーの声を聞いた。彼の眼はしかし大自然に開かれて行った。コラーンがアラビア文学の粹と称えられるのは預言者の口から吐露される素朴な自然描写でもあるのではなかろうか。

Allah is cognizant of all their actions. 10. Jonah

彼はアルラーにこのような全知者として応答する。アルラーが彼に啓示するのは神秘の世界ではなく各自の行為に就いてである。コラーンに頻頻と繰返されるのはアルラーの赦の字である。彼は信徒に改悔を迫る。それには彼自らは例外としたであろうか。

Did He not find you in error and guide you? 93 Daylight

彼が Sad の中に^{注26}ダビデを登場させ

Remember Our servant was both a mighty and a penitant man.

と託宣している。これは同時にマホメットがダビデの名を藉りた自己告白でもあろう。自然への開眼と自己への省察。マホメットはこの二点において時代の呪術家たちと相容れない一線を画したのではなかったろうか。呪術家たちは人々を禍福に向けて恐怖させた。マホメットはか

26 サムエル書下11・12章。ダビデが部下ウリヤの妻と姦淫しその上ウリアを殺した。予言者ナタンに責められ改悛した心情を歌ったものは詩篇51と伝えられて来た。マホメットのこのような醜体面を背景にしているのは 66 Prohibition (禁断)

れらに善悪の取捨を迫った。マホメットが隊商としてまた宣教者として国々の伝説や歴史に関心を呼び起こした事もコラーンの行間に読み取られる。

How many generations have We destroyed since Noah's time! The Night journey

彼が民族の興亡の跡を回顧しつつ他の snra において

Their history is a lesson to men of understanding.

と結ぶのは所謂教訓的歴史の知恵からとは思われない。国々の興亡の由って来るものはアルラーに対する信と不信とのいずれかである。アルラーは自然の神でありまた歴史の神である。これは旧約の預言者たちに順応したものでマホメットの創見ではないであろう。

にもかかわらず私たちは彼を預言者と呼ぶ事を躊躇しない。彼は時代の危機を逸早く予見し、この破局を心魂に感得したから。彼は過去を回顧して詠嘆する詩人ではなかった。彼は現実の事態を傍観する哲人でもなかった。

Did He not find you an orphan and give you shelter? Daylight

彼の孤児としての状態は彼の同胞アラビア人を象徴しているのではないだろうか。

彼にはアラビアの救いと言えばアルラー以外に何もなかった。

彼はアラビア人として他の民族には窺われない宗教心理を先天的に具有していた。それは終りの日の到来の恐怖であった。これは日本の平安の末期から鎌倉の初期に人心を支配した末法思想とはおよそ異質的なものであった。彼が直面した危機とは政治的なものではなくむしろこのような終末観であった。

Few of them are true believers, and most of them are evil-doers. The Imrans

彼は People of the Book において発見したのは上のような現実であった。彼は生れながらの宗教家ではなかった。

彼の眼に映じた啓典の民らは言わば論語読みの論語知らずと言ったところであったろうか。

彼は No other gods besides me とアルラーの神命を伝達した。

彼には一つの神に一ねの民の信条は鉄則であった。

彼には宗派の分離はアルラーへの背徳であった。イスラームのユダヤ教徒またキリスト教徒との訣別はその教義内容もさることながら相互の分派が決定的な素因となっているのではなかろうか。

The Jews say the Christian are astray, and the Christians say it is the Jews who are astray. Yet they both read the Scriptures. And the pagans say the same of both. The Cow

教会史に表われた宗教改革は二つの動向を示している。聖書の立場に立ち正義の実現を目指して分派の方向を辿ったもの。これに反し同じ聖書の立脚点から愛を基準として合同に向ったもの。

マホメットは一代の間にアラビア全土を統一した。

人は彼の政治的手腕の卓抜に驚嘆する。それはよい。しかし人がこれに絡み^{注27}彼に世界統一の野望を疑うのは果して当を得ているであろうか。

If you obeyed the greater part of mankind, they would lead you away from Allah's path. The Cattle

思うに彼の宿願としたのは啓典の民たちのアルラーの名による宗教的共同社会ではなかったろうか。

Abraham was neither Jew nor Christian. The Imrans

彼は啓典の民を包含する宗教的共同社会のイメージを抱きながらその完全な実現を見たであろうか。

彼は啓典の民の包越を企図した。しかしこれにはセム族としての限界があった。

Dante (1265—1321) は神曲の地獄篇にマホメットを呻吟させている忠実なカトリック教徒として神曲を書いたダンテには十字軍の印象は生生しく脳裡に残っていた。

彼の異教徒憎悪は一応納得される。ダンテによって代弁される反イスラーム感情はその後基督教国をどの位支配していたであろうか。

Thomas Carlyle (1795—1881) は Heroes and hero-worship の五人の中にマホメットを取り上げている。

This Mahomet, then, we will in no wise consider as an Inanity and Theatricality, a poor conscious ambitious schemer; We cannot conceive him so.

The rude message he delivered was a real one withal; an earnest confused voice from unknown Deep.

と彼はマホメット観を披瀝し、彼の性格づけをする唯一のものとして Sincerity を挙げている。

イスラーム教には無縁であり一方キリストと教徒として自由な立場にあったカーテイルのこうしたマホメット像はヨーロッパ人にどれだけの影響を及ぼしたであろうか。

MUHAMMAD Prophet and Statesman の著者 Watt が

Moreover he must have been perfectly **sincere** in this belief. と記しているところからすればヨーロッパ人のマホメット観に与えた「英雄及び英雄崇拜」の感化には測られないものがある。イギリスでは1734年 G. Sale がコラーンの翻訳を試みた。筆者が手にしたのは J.M. Rodwell^{注28} の The Koran である。

これは Every man library に収められ1963年で380版に reprint されている。筆者がこれに通読して恰もコラーンの聖書版に接する思いがした。それから井筒俊彦氏の邦訳コーランの上中下を精読した。彼にはコラーンの敬虔な心情が溢っているのに対し此には^{注29}野趣満満たるカ

27 A History of Expansion of Christianity vol. 2 The Thousand years of uncertainty by Latourette 295P

28 彼の翻訳の第一版は1861年に刊行された。この書の特徴は Sura を年代順に配列した事。

29 性モラルを説いた 24 Light の Dawood 訳と井筒俊彦訳とを一例として比較せよ。The Koran 211P とコーラン中 194頁

ーライルの言う rude message が伝わっている。

筆者は改めて考えものがあった。イスラームにはどちらが近いか。アジアとヨーロッパと。
筆者が本論文に用いたのは N. J. Dawood の The Koran 1966版である。

^{注30}
Dawood が序文を次のように結んでいる。

It is the work itself that matters; and the intelligent reader, if allowed to approach it with a free and unprejudiced mind, should be able to form his own opinions.

筆者が励まされたのもこの末尾の一節。

終りにマホメットの現代における意義を反省しながらコラーンの一節を記そう。

That was why We laid it down for the Israelites that whoever killed a human being except as a punishment for murder or their crimes, should be looked upon as though he had killed all mankind; and that whoever saved a human life should be regarded as though he had saved all mankind.

The Table

こんな事情があったればこそ我らはイスムエルの子たちにたいして明文の法規を定め、人を殺したとか、あるいは地上で何か悪事をなしたとかいう理由もないのに他人を殺害する者は全人類を一度に殺したのと同等に見なされ、反対に誰か他人の生命を一つでも救った者はあたかも全人類を一度に救ったのと同等に見なされる、とした。

井筒俊彦訳 コラーン上食卓

Moffat の英訳聖書を使用したのはその Style が現代的であるから。本文に引用したのはみなこの訳書によった。

なお旧約聖書に関して裨益されているのは

渡辺善太全集 4 巻。

宗教心理を扱ったものとしては

Rudolf Otto : Das Heilige.

教会史としては

Latourette : A History of Expansion of Christianity のほかに

Schubert : Grundrüge der Kirchengeschichte.

(日本訳 井上良雄教会史綱要)

などに負う所が多い。

30 "But the more recent one of. N J Dawood has greater simplicity and always give an intelligible meanig". Mahammad Prophet and Statesman by Watt, P243